



4月7日の緊急事態宣言と休校延長を受けて、れいんぼーでは、さらなる感染防止対策を実施しつつ活動しました。

マスクや手洗い、手指の消毒などの習慣化は最初は難しかったのですが、はじまりの会などで根



気よく理由を説明し、また石鹸をお花の泡スタンプのものにしたり、人気の手洗いソングを流すなど、楽しくなる工夫をすることで、自分から進んで実行してくれるようになりました。送迎車も窓を少し開け、室内も都度換気をし、食事は横並びに着席し、食事ではマスクを外している間は会話をしない、など、新しいルールにも、みんながんばって協力してくれています。

また、4月から来られた新一年生も、上手に遊びの和に入っています。一方、利用自粛でお休みの子と来所中の子で、ビデオ通話で会話したり、簡単なゲームをする、オンライン参加もスタートしました。緊急事態宣言が解除され学校が再開しても、ここ2ヶ月の取り組みや学びを生かし、これまでよりも、より安全で充実した時間を過ごして頂けるよう、尽力してまいります。それでは、今号のにじのはしも、どうぞお楽しみください。



4月のお誕生日会

4月24日（金）に、4月のお誕生日会を開催し、4月生まれの小学生4人のお友達の誕生日をみなでお祝いしました。感染防止のため、ろうそくは吹き消さず、うちわであおいで消してもらいました。



お友達クイズでは、本人もすっかり忘れていたできごとや、お気に入りのユーチューバーやダンスなど、色々な問題が出て盛り上がりました。プレゼント贈呈のあとは、オシャレース、にこにこぷんぷん、ぼうずめくり、を楽しみました。

ドミノピザからピザを無償提供いただきました

4月22日（水）は、毎年夏休みにピザ作り体験でお世話になっているドミノピザから、社会奉仕の一環として、Lサイズピザ5枚を無償提供していただきました。4年生で7切れ食べる子もいて、大好評でした。みんなで配達の方にお礼を言い、夏休みには体験に出かけたいね、と話しました。



公園あそびにでかけました



4月15日（水）の運動あそびは、先月の避難訓練の帰りに行った公園で、思いっきり身体を動かしました。小学生から高校生まで、全力で走り、職員も頑張って走りました。今回も、たまたま遊びに来ていた利用児さんと出会い、「ここに来ると、みんなと会えるね」と話していました。

公園に来られる方が増え、これ以降は公園あそびを見送っていますが、利用制限が緩和されたら再開したいと考えています。



れいぼー

4月の活動プログラムより

「はじまりの会」「おわりの会」は、テーブルを片付け、他の子と距離を取れるように、印をつけた位置に座って行っています。朝1時間のしずかな時間では、学校から宿題を受け取るまでは、前学年のまとめプリントをするなど工夫をし、その日の課題が終わっても、「しずかな時間が終わるまでがんばる」と宣言する子が出てきました。学習以外では、指先訓練のためのボタンつなぎなどに取り組みました。

工作プログラムでは、3つのパーツを丸めてモールでつなぎ、くねくねと動くぴちぴち鯉のぼりを作り、色とりどりの個性的な鯉が出来上がりました。料理プログラムは、おいしい



レンチトーストを作り、「おうち時間」で作るためにレシピをメモする子もいました。

英語プログラムは、これって英語?と題して、さまざまなカタカナ言葉のカードを見て、英語かどうかを当てるゲームをしました。ペットボトルが和製英語であることや、サッカーはアメリカでしか使わないなど、楽しく学びました。



ゲーム大会・運動プログラムは、距離を保って身体を動かす機会を工夫しました。ドリブルチャレンジや、足ボールパス、ストレッチの他、お休み中のお友達と画面越しに対戦するオンラインあっちむいてホイも楽しみました。



ドラムレッスンは、人気のドラマやアニメの主題歌や、髭ダンの曲に合わせ、歌を口ずさみながら叩く子もいました。

自由あそびでは、子ども同士で誘い合う遊びがどんどん増えました。自作のボウリングゲームに、学年に合わせて立ち位置の線をつけたり、ウノのカードで順番を決めたり、ルールを紙に書いて、参加する子に読んでもらうなど、れいぼーのゲーム大会のやり方を取り入れ、みんなで遊ぶ子も出てきました。また、画用紙で特大の電車を作って、天井からつるした紐を通して走らせるなど、これまでにない遊びが出てきて活動の幅が広がりました。



他にも、シンカリオンや頭飾りなどのペーパークラフトや、マーブリングや指あみなどの教材などを使い、休校日を飽きずに過ごせるよう工夫をしました。

